



拝啓、会員様～森協会長のひとこと～

3.11「東日本大震災」あれから一年が経ちました。この場をお借りし被災地の復興にご尽力されている方々に敬意を表すとともに、被災された方々に改めて哀悼の意を捧げさせていただきます。

被災地の完全復興にはまだまだ時間がかかります。我々も青年経済団体の一員として、今後どのような支援が出来るのか？

厳しい社会情勢の中ではありますが、引き続き考えていく必要があると思います。

「共助の心」今一度皆でしっかりと胸に刻み込みましょう。

ちょっと聞いてや!!

中央会に入会し、色々な方たちと交流をしてきました。どんなに忙しい時でも常に笑顔を決められない先輩たちを見る度、いつも尊敬の念を抱いております。

私の好きな言葉の一つに「和顔愛語」(わけんあいご)という言葉があります。(和やかな顔に愛のある言葉)という意味がある仏教用語で、お金を掛けずに人を幸せにすることが出来る七つの事柄。お釈迦様が唱えた「無財の七施」の一つです。

中央会活動に限らず、仕事においても日々の生活においても、人と関わらずに過ごすことは出来ません。その中で、自分の笑顔によって周りの人を幸せにすることが出来るとすれば、どれだけ素晴らしいでしょうか。人間であれば腹が立つ時もあります。そんな時こそ「和顔愛語」を心がけて延々と続く笑顔の連鎖を図りたいものです。(副会長:須山 裕文)



Handsome CONTENTS

March 2012

巻頭記事 2月例会開催

鳥取県中小企業青年中央会 経営研修会

OB訪問

(株)米子マツダ 代表取締役 吹野正和OB(第21期ご卒業)

2月例会を終えて

政治経営委員会 委員長 谷口 弘毅

連載 拝啓、会員様

～森協会長のひとこと～

特集 企業紹介

| | |
|--------------|-------------|
| 三光(株) | 三嶋 真樹 |
| (株)皆生グランドホテル | 伊坂 明 |
| 連載 | |
| おすすめビジネス本 | 長谷川 貴久 |
| 私のおすすめの一品 | 桑本 功一 |
| 委員会訪問 | 総務委員会 |
| 中央会を振り返って | 土岐 哲己・浅中 雅彦 |
| ちょっと聞いてや!! | 副会長 須山 裕文 |
| 3月例会へ向けて | |
| 地域ビジョン委員会 | 委員長 長谷川 洋司 |

相互理解と協調

2012.3 No.282

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 森脇 哲雄 編集責任者/担当 副会長 小川 敦弘 制作・編集 37期広報委員会/委員長 松尾 友雄 印刷所/東京印刷(株)

鳥取県中小企業青年中央会経営研修会

2月4日(土)倉吉シティホテルに於いて、レストラン カシータ オーナー高橋氏による経営研修会が開催されました。

講演では、経営者にとって風に吹かれる事が重要であり、世界中を一人で旅して涙を流す様な感動を味わい、感性をみがき、自分のお客様にそれを伝えていって欲しい。仕事に真剣なのは当然。常識にとらわれ、コンピュータの様な仕事をし

てはいけない。お客様に感謝の気持ちや想いを伝え、人間らしい仕事を行なう事。すなわちお客様に真剣になる事が大事だ、と教わりました。

「仕事も性格も変えられないが、今日から生活を変えることはできる。」とのお言葉がとても印象的で感動させられる、すばらしい講演でした。(記事:足立駿)



2月度委員会報告

人間力開発委員会
平成24年2月9日(木)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/13名
議題/・役員会報告
・松江YEGとの交流事業について
・会員拡大について
・5月担当例会について
・その他

地域ビジョン委員会
平成24年2月8日(水)於:米子食品会館 第3会議室 出席者/16名
議題/・役員会報告
・3月例会打ち合わせ
・会員拡大について
・その他

政治経営委員会
平成24年2月8日(水)於:米子市公会堂会議室 出席者/18名
議題/・役員会報告
・2月例会打ち合わせ
・その他

広報委員会
平成24年2月8日(水)於:レストランぶどうの木 出席者/14名
議題/・役員会報告
・ハンサム発行について
・DM実践について
・その他

総務委員会
平成24年2月7日(火)於:ふれあいの里 出席者/18名
議題/・役員会報告
・中央会業務についての意見交換
・1月新年例会の反省
・会員拡大について
・その他

3月役員会報告

3月役員会が平成24年3月1日(木)米子食品会館にて開催されました。

当日の主な議題は以下の通りです。

- ・2月例会開催報告
- ・3月例会開催の件(審議)
- ・4月家族例会開催の件(協議)
- ・松江YEG交流会の件(審議)
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

3月例会案内

と き:平成24年3月14日(水) 18:50~21:15
ところ:米子コンベンションセンター小ホール
テーマ:第1部:講演会「障がい者の企業就労と自立支援」
第2部:パネルディスカッション「自立支援に対する地域の現状」
担 当:37期地域ビジョン委員会

2月例会開催!!

平成24年2月15日 米子全日空ホテル



冒頭、森協会長より、「最近、会合で20代の若者と話す機会があり、若いパワーを感じる事があった。これまで我々が先輩方に温かく見守っていただいた様に、今度は自分達が次世代を担う人材を育てていくことが大事では。」との挨拶があった。

続いて、新入会員山口尚文会員にバッジが授与され、「当会にとって必要な人材になれるように頑張りたい」と抱負を語った。

委員長タイムでは、人間力開発委員会の横山委員長より、前日のバレンタインデーにちなんだ横山家での家族との会話や、有名メーカー、ゴディバの由来を披露され、色々な情報を知っておくことで様々な場面で役立つ事を話された。

今例会では、「~どげにかしよいや~鳥取県総合特区構想」をテーマに、講演とパ



ネルディスカッションの二部構成で行われた。

第一部では、鳥取県商工労働部産業振興総室次世代環境産業室長の酒井崇行氏を講師に招き、国が推進する総合特区制度の概要と、鳥取県のこれまでの取り組みや課題について説明をいただいた。

第二部では、講演を受けて、酒井室長と、政治経営委員会メンバーがパネラーとな



り、総合特区に関する今後の取り組みについて意見交換を行った。議論の中で、当会メンバーからは、がんスクリーニング検査の受診率を高めることで住民のがんの早期発見と地域活性化を企図した特区構想や、まんがの著作権を緩和することで観光客の誘客を高める特区構想等の提案があり、講師からは、興味深い提案であるが乗り越えるべき課題もあり、是非別の機会に細かい部分の議論を行いたいとの反応があり、西部地区の民間の代表として鳥取県地域活性化総合特区推進協議会のメンバーに加わって、更なる提案をお願いしたいとの逆提案があった。



終演後、当会を代表して須山副会長から酒井室長への謝辞とともに、次回の特区申請の際には我々「商売人」の声も反映していただき、県西部を舞台に発信できるようにしたいとの挨拶があり、2月例会は閉会した。(記事:徳尾)

2月例会を終えて...

期待と不安の入り混じる中、政治経営委員会の担当例会が開催されました。当日は時間の関係で用意していた内容を全てご披露することはできませんでしたが、私たちの暮らすこの鳥取県西部地域で、地域活性化総合特区という素晴らしい夢と可能性があることをご理解いただけたと思っています。今回の例会で知っていただいた事柄を是非とも大いに参考に

政治経営委員会 委員長 谷口 弘毅

していただき、会員皆様の職種での可能性を会社の方達と話題にさせていただけたらと思っています。私たちは常に地域活性化と社会奉仕という大きな使命を担って社会の中に身を置いています。今回の例会をきっかけに会員の皆様が、地域の中で何が出来るのかを考察して頂けたら嬉しく思います。

新入会員

(政治経営委員会)

山口尚文 A型 専務取締役

山進運輸株式会社 運送業

〒684-0046 境港市竹内団地211-1
TEL 45-2031 FAX 45-4565
(KT) 090-4570-9749
(EM) n-yamaguchi@yamashin.sanin.jp
S 52.04生

編集後記

最近流行りのfacebook、当会でもOB会員様も含め登録者数が拡大の様子、様々な面で人の繋がりが増え、また情報収集の場にも使えそう。現実とバーチャルな世界をうまく融合させながら当会にも活用できれば良いと考えている。(記事:山本)

3月例会に向けて



3月例会を担当させていただきます地域ビジョン委員会は、「人と人との交流、人の活動が盛んになる事が地域活性に繋がる」と考え活動を行なっております。

人と言ってもジャンルはいろいろありますがその中でも「障がい者」をキーパーソンとした活動に取り組んでおり、同じ地域で暮らす障がい者の雇用状況について現状を認識し、企業側の立場として障がい者

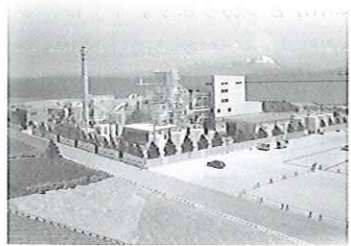
とどう向き合うべきかを考えるきっかけづくりの場とするとともに、雇用に限らず福祉団体との商品開発の可能性を探るなど、地元根ざした企業活動に役立てただけの内容となっています。第1部として『自立生活センター メインストリーム協会 玉木氏』をお招きし講演会、第2部としてパネルディスカッションを行います。形式もオープン例会とさせていただきます、現役会員はもちろんOB会員、一般の方まで、一人でも多くの方々にご参加いただきたく思います。この例会を通じて一緒に知る事からはじめてみませんか？

(地域ビジョン委員会 委員長 長谷川 洋司)

企業紹介

三光株式会社

三嶋 真樹



当社は、廃棄物処理業と石油製品販売業を主な事業として、鳥取県境港市を本拠地に広く全国を視野に入れた事業活動を行っています。

山陰エリアにおける廃棄物の民間処理施設としては最大の処理能力約

8万トンを用意、多くの廃棄物を安全かつ適正に処理しています。

また、廃棄物処理の山陰トップ企業として、CO₂クレジットや発電、ゴミの燃料のJIS化等、常に最新のサービスを創造しています。取扱可能品目も多く、全国幅広く収集運搬許可を得ており、皆様のあらゆるニーズに対応できます。

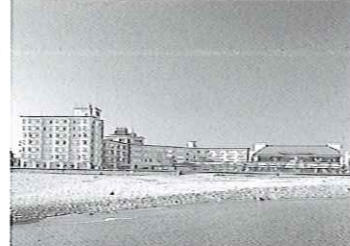
社内に「コンプライアンス推進室」を設置し法令順守と適正処理を心掛け、皆様に安心して任せいただける体制を整えています。

廃棄物は「捨てればゴミ、使えば資源」です。食品残渣から作った良質な「堆肥」、プラスチック・紙等から作った「ゴミ燃料RPF」、「発電によるCO₂削減」等、独自の新しいリサイクル方法を提案します。

企業紹介

株式会社皆生グランドホテル

伊坂 明



「海に湯が湧く米子の皆生、波の音さえ寝て聞く」、野口雨情作詞・皆生小唄の1フレーズです。その通り、毎日波の音が聞こえる皆生温泉で皆生グランドホテル 天水と華水亭を営んでいます。

皆生温泉は比較的関西圏のお客様が多いのですが、地元のお客様に

も多数ご利用いただいております。

天水はカロリー表示した会席まるごとバイキングが人気で、サークルの打ち上げや女子会にピッタリです。

華水亭は接待の他に結婚記念日などご利用いただけます。両館とも1泊朝食のビジネスプランもあり、県外企業や、地元企業の関連会社の皆様に好評です。

また最近増えてきたのが還暦やお誕生日などのお祝い事、法事など、家族親族での会食です。その他クリスマスの特別プランやジャズライブなど、豊富な商品を揃えて地元の皆様のご利用をお待ちいたしております。

おすすめビジネス文庫

紹介者:長谷川 貴久 会員

月刊『致知』

致知出版社



この「人間学を学ぶ月刊誌」は、昨年に中本高夫OBから1年間の通読をプレゼントして頂いたものです。成長して欲しい人への贈り物として、また社会人の指標として、青年から

熟年まで幅広い層から支持されています。中央会でも購読しておられる方も多いのではないのでしょうか？雑誌で在りながら非常に重厚な記事・特集を掲載しており、その道を極めた諸先輩方から贈られる珠玉の金言が随所に織り込まれています。読む側もコンビニで買う情報誌を読むような気軽さより、腰を落ち着けて噛みしめるように読む姿勢が必要だ、と1冊目を開いた時から理解できるでしょう。未読の方は是非購読を、概知の方は成長して欲しい人へプレゼントして下さい。きっと何か心が伝わるとおもいます。

私のおすすめの一品

桑本 功一



一品とはちょっと違うかも知れませんが、「格安中古パソコンとリビルト」をお勧めしたいと思います。

PCは日々進化しますが、ローソン行くのにF1は必要ない理論ですと、中古パソコンをちょっといじれば十分に使える。

こちらはIBM ThinkPad X61という5年前のPCですが、IBM(現Lenovo)は部品交換が簡単でお勧めです。

Core2Duo T7300 2GHzというCPUで、発売当時は22万ほどでしたが、現在はオークションで中古を1.5万程で入手できます。

あとは快適に使うため、オークションで2GBのメモリを2千円、500GBのHDDを5千円程で新品を入手します。合計2.2万円。

交換作業は不慣れな人でもHPで詳しく説明されているので簡単。付属のWindowsを入れ直せば、現在の新品PCの15万円台と遜色なく使え、多少の使用感さえ気にしなければ全く問題なく使えます。キーボードも新品が数千円で入手できちゃいます。

お金が貯まるまで我慢して古いPCを使い続けるより、リビルトした方がリサイクルでエコですし、快適なPCライフを送れると思いますよ。

中央会をふりかえって...

土岐 哲己 会員
(H16.09入会)



中央会に入会して7年余り、思えば平成16年9月に入会した当時、会員に知人は1人だけでした。しかし、今ではOBの先輩方を含め、たくさんの「知人」ではなく、「友人」や「仲間」とめぐり合うことができたと思います。そして、中央会によって「自分は何かが確実に変わった」と、振り返ってみて感じます。それは、会の根本的な活動は基より、付属する同好会等の様々な活動や熱心な懇親から得られたものと確信します。

さて、中央会で変わるといって、積極性を主とする内面と、いわゆる懇親太りがポピュラーです。ですが、数年前に開催された「子豚の会(中央会ダイエットダービー)」は、元々体脂肪率の高かった私を大きく変えるきっかけとなりました。あの時の決断は、私の人生をより楽しいものに変えたと確信しています。

最後に、会の様々な役をさせていただいたことで、たくさんの経験と自己研鑽をさせていただきました。声をかけてくださった諸先輩と、協力してくださった全ての「仲間」に感謝します。

中央会をふりかえって...

浅中 雅彦 会員
(H17.08入会)



早いものであと半年足らずで卒会となります。職業柄転職がつきものですので、転職と同時に退会するんだらうと入会当初はそう思っていたのですが、まさか卒会できるとは考えてもいませんでした。

約7年間の在籍期間中転職が2回ありましたが、勤務地が松江と米子でしたので、退会せず引き続き会の活動に参加することができました。

退会しなかったのは、勤務地が米子近辺だったということもありますが、別に大きな理由が2つあります。1つは、OBの方に最後までやり通せと励まされたことです。会社の先輩で転職しても中央会活動を続け卒業した方もいましたので、自分も卒会まで続けようと思えました。そしてもう1つの理由は、せっかく知り合いになれた会員の方と付き合いがなくなってしまうことが非常に残念に思えたからです。

それぞれの年度で、それぞれの思い出がありますが、一番の思い出は多くの方々と知り合いになれたことです。このことは自分の大きな財産ですし、今後も大切にしていきたいと考えています。

OB訪問

米子マツダ 代表取締役
吹野 正和 OB (第21期卒会)



今月は第21期卒会の米子マツダ 代表取締役 吹野正和OBを訪問しました。

はじめに、中央会での思い出をお聞きました。

「入会当時は会員が非常に多い頃で35歳で入会。10年間の在籍期間のうち、40歳くらいからは特に熱心に取り組ま

せてもらった。宇佐美明OBが会長の時には交通体系委員会の委員長。渡部秀夫OB、高田昭美OBが会長の時には副会長。藤居忠弘OBが会長の時には県出向の役をいただいた。それなりに忙しかったが人数的なパワーが一番大きいときに様々な役をさせていただいた事は自分にとって非常に良い経験になったと思う。また、当時トラ

イアスロンで東亜青果にあったエイドステーションで選手に朝から晩まで応援した事や、青経連の発足など、非常に充実した時期だった。」と当時の事を振り返っておられました。

現役会員へのメッセージについては「参画すればするほど身になっていく会だと思える。推薦や付き合いなど、色々な理由で入会される方はいると思いますが、自分から率先して活動に取り組んでいかないと意味がない。卒会までの年数はさまざまだが、その間により多くの人と付き合い、色々なパイプを太くし、委員会・例会はもちろんトライアスロンや県の事業等の年間事業にも率先して参加し、自分をアピールしていってください。」とアドバイスをいただきました。

私も中央会の活動を通じて自分をもっとアピールし、多くの人脈、多くの事を学んでいこうと思います。

お忙しい中、取材にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。(記事:足立匡)

委員会訪問

～総務委員会～

平成24年2月7日(火)ふれあいの里にて、総務委員会2月委員会が開催された。

役員会報告の後、1月新年例会の反省点が各会員よりあり、OB会員への対応の不備や入会の浅い会員が積極的に出向いた方がよかったのでは、などの意見が出ていた。

また今後の課題として、現役会員とOB会員が交流できる仕掛けを作ってみてはどうか？本番では想定外の事態に備えフリーに動ける会員を設けては？など、来期へ向けての提案もあった。

委員会後半では中央会業務についての意見交換が行われた。3グループに分かれ、会則・規約について議論し、各グループ



より発表があった。会員がいかに活動しやすく、業務に支障が出ないようにするために、今後の委員会活動で検討して行くようだ。(記事:野口)